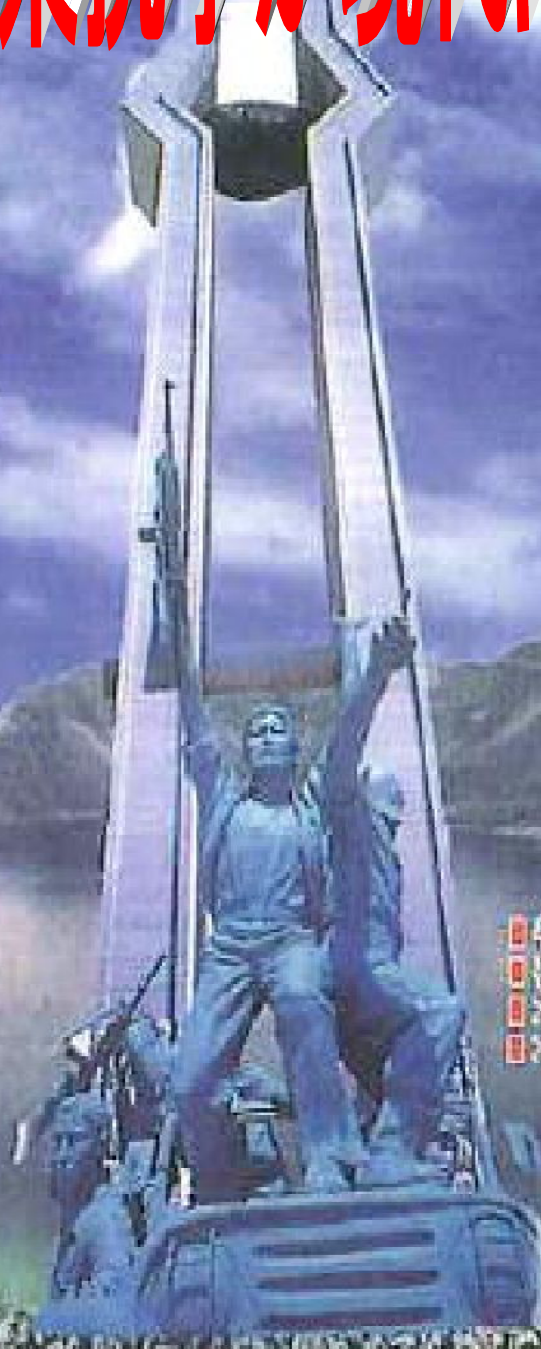


# 5. 18光州民衆抗争が現代に伝えるもの

1980年5月、韓国南西部の街・光州、韓国戒厳軍は市民に無差別発砲し、670名あまりを殺戮した。市民たちは銃を取って反抗した。鎮圧され、生き残った人々は、捕らえられ、拷問を受け、軍事裁判により、重刑に処された。しかし、彼らの闘いは終わらなかった。15年の年月を経て、韓国全土に拡大した闘いは、ついに軍事政権を打ち倒し、民主政府を実現したのである。この闘いが、現代に生きる私たちに伝えるものを問う。



原水禁高知県民大会・特別報告  
光州「5. 18拘束負傷者会」の証言  
8月6日(金)18:00～  
人権啓発センター6階ホール  
主催：原水爆禁止高知県民会議、平和憲法ネット  
ワーク高知、日朝友好・国交正常化促進会議、  
高知県平和運動センター

原水禁高知県民大会・特別報告  
光州「5. 18拘束負傷者会」の証言  
8月6日(金)18:00～  
人権啓発センター6階ホール  
主催：原水爆禁止高知県民会議、平和憲法ネット  
ワーク高知、日朝友好・国交正常化促進会議、  
高知県平和運動センター